

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 【18】 左一回目 一回目留置  
 項目 2: 【18】 左一回目 二回目留置  
 項目 3: 【18】 左一回目 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1281	平均値=22.2908	標準偏差=8.35091	標準誤差=0.233324
項目 2: 例数=932	平均値=21.9745	標準偏差=8.37586	標準誤差=0.27436
項目 3: 例数=894	平均値=21.7582	標準偏差=8.26684	標準誤差=0.276484

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 【18】 左一回目 二回目留置

項目 2: 例数=831	平均値=22.0111	標準偏差=8.32215	標準誤差=0.288692
項目 1: 例数=831	平均値=22.5502	標準偏差=8.15919	標準誤差=0.283039

変化量: 例数=831 平均値=-0.53911 標準偏差=4.1301 標準誤差=0.143271  
 t=-3.76285 自由度=830 有意確率 p=0.000179801\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.53911±0.281217 (-0.820326—0.257893)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.000359601\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.53911±0.321713 (-0.860822—0.217397)

・項目 3: 【18】 左一回目 三回目留置

項目 3: 例数=772	平均値=21.4769	標準偏差=8.1157	標準誤差=0.292091
項目 1: 例数=772	平均値=22.1273	標準偏差=8.18578	標準誤差=0.294613

変化量: 例数=772 平均値=-0.650389 標準偏差=4.59415 標準誤差=0.165347  
 t=-3.93348 自由度=771 有意確率 p=9.12752e-05\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.650389±0.324584 (-0.974972—0.325805)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.00018255\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.650389±0.371335 (-1.02172—0.279054)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 【18】 左二回目 一回目留置  
 項目 2: 【18】 左二回目 二回目留置  
 項目 3: 【18】 左二回目 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1261	平均値=22.3685	標準偏差=8.43546	標準誤差=0.237548
項目 2: 例数=904	平均値=21.8483	標準偏差=8.3031	標準誤差=0.276157
項目 3: 例数=876	平均値=21.6191	標準偏差=8.36609	標準誤差=0.282664

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 【18】 左二回目 二回目留置

項目 2: 例数=796	平均値=21.9779	標準偏差=8.24063	標準誤差=0.292081
項目 1: 例数=796	平均値=22.6891	標準偏差=8.30271	標準誤差=0.294282

変化量: 例数=796 平均値=-0.711181 標準偏差=3.8721 標準誤差=0.137243  
 t=-5.18191 自由度=795 有意確率 p=2.78676e-07\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.711181±0.269401 (-0.980582—0.441779)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=5.57353e-07\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.711181±0.308201 (-1.01938—0.40298)

・項目 3: 【18】 左二回目 三回目留置

項目 3: 例数=747	平均値=21.4862	標準偏差=8.1702	標準誤差=0.298932
項目 1: 例数=747	平均値=22.2177	標準偏差=8.14722	標準誤差=0.298091

変化量: 例数=747 平均値=-0.731459 標準偏差=4.33299 標準誤差=0.158536  
 t=-4.61384 自由度=746 有意確率 p=4.6522e-06\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.731459±0.31123 (-1.04269—0.420229)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=9.30439e-06\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.731459±0.356062 (-1.08752—0.375397)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壮治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: IADL 一回目留置  
 項目 2: IADL 二回目留置  
 項目 3: IADL 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1586	平均値=5.10971	標準偏差=2.37241	標準誤差=0.0595715
項目 2: 例数=1586	平均値=3.98928	標準偏差=3.00754	標準誤差=0.0755197
項目 3: 例数=1586	平均値=3.47667	標準偏差=3.13237	標準誤差=0.0786542

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: IADL 二回目留置

項目 2: 例数=1586	平均値=3.98928	標準偏差=3.00754	標準誤差=0.0755197
項目 1: 例数=1586	平均値=5.10971	標準偏差=2.37241	標準誤差=0.0595715

変化量: 例数=1586 平均値=-1.12043 標準偏差=2.73175 標準誤差=0.0685945  
 t=-16.3341 自由度=1585 有意確率 p=1.55431e-15\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-1.12043±0.134546 (-1.25497--0.985883)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=3.10862e-15\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-1.12043±0.153894 (-1.27432--0.966535)

・項目 3: IADL 三回目留置

項目 3: 例数=1586	平均値=3.47667	標準偏差=3.13237	標準誤差=0.0786542
項目 1: 例数=1586	平均値=5.10971	標準偏差=2.37241	標準誤差=0.0595715

変化量: 例数=1586 平均値=-1.63304 標準偏差=2.95459 標準誤差=0.0741901  
 t=-22.0116 自由度=1585 有意確率 p=5.55112e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-1.63304±0.145521 (-1.77856--1.48752)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1.11022e-15\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-1.63304±0.166448 (-1.79949--1.46659)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: IADL-女 一回目留置  
 項目 2: IADL-女 二回目留置  
 項目 3: IADL-女 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=924	平均値=6.05952	標準偏差=2.42811	標準誤差=0.0798788
項目 2: 例数=924	平均値=4.76515	標準偏差=3.31222	標準誤差=0.108964
項目 3: 例数=924	平均値=4.24784	標準偏差=3.46602	標準誤差=0.114024

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: IADL-女 二回目留置

項目 2: 例数=924	平均値=4.76515	標準偏差=3.31222	標準誤差=0.108964
項目 1: 例数=924	平均値=6.05952	標準偏差=2.42811	標準誤差=0.0798788

変化量: 例数=924 平均値=-1.29437 標準偏差=3.11915 標準誤差=0.102612  
 t=-12.6142 自由度=923 有意確率 p=1.11022e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-1.29437±0.201381 (-1.49575--1.09299)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=2.22045e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-1.29437±0.230371 (-1.52474--1.064)

・項目 3: IADL-女 三回目留置

項目 3: 例数=924	平均値=4.24784	標準偏差=3.46602	標準誤差=0.114024
項目 1: 例数=924	平均値=6.05952	標準偏差=2.42811	標準誤差=0.0798788

変化量: 例数=924 平均値=-1.81169 標準偏差=3.31536 標準誤差=0.109067  
 t=-16.6108 自由度=923 有意確率 p=5.55112e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-1.81169±0.214048 (-2.02574--1.59764)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1.11022e-15\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-1.81169±0.244863 (-2.05655--1.56683)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: IADL-男 一回目留置  
 項目 2: IADL-男 二回目留置  
 項目 3: IADL-男 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=659	平均値=3.80121	標準偏差=1.47881	標準誤差=0.0576061
項目 2: 例数=659	平均値=2.91958	標準偏差=2.08218	標準誤差=0.0811102
項目 3: 例数=659	平均値=2.41123	標準偏差=2.18086	標準誤差=0.0849544

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: IADL-男 二回目留置

項目 2: 例数=659	平均値=2.91958	標準偏差=2.08218	標準誤差=0.0811102
項目 1: 例数=659	平均値=3.80121	標準偏差=1.47881	標準誤差=0.0576061

変化量: 例数=659 平均値=-0.881639 標準偏差=2.05501 標準誤差=0.0800517  
 t=-11.0134 自由度=658 有意確率 p=7.77156e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.881639±0.157188 (-1.03883--0.724451)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1.55431e-15\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.881639±0.17984 (-1.06148--0.701799)

・項目 3: IADL-男 三回目留置

項目 3: 例数=659	平均値=2.41123	標準偏差=2.18086	標準誤差=0.0849544
項目 1: 例数=659	平均値=3.80121	標準偏差=1.47881	標準誤差=0.0576061

変化量: 例数=659 平均値=-1.38998 標準偏差=2.34384 標準誤差=0.091303  
 t=-15.2239 自由度=658 有意確率 p=4.44089e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-1.38998±0.17928 (-1.56927--1.2107)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=8.88178e-16\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-1.38998±0.205116 (-1.5951--1.18487)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: K-6 一回目留置  
 項目 2: K-6 二回目留置  
 項目 3: K-6 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1353	平均値=6.19512	標準偏差=5.31566	標準誤差=0.144514
項目 2: 例数=1068	平均値=5.77528	標準偏差=5.18813	標準誤差=0.158754
項目 3: 例数=924	平均値=5.53463	標準偏差=4.81172	標準誤差=0.158294

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: K-6 二回目留置

項目 2: 例数=943	平均値=5.69141	標準偏差=5.19709	標準誤差=0.169241
項目 1: 例数=943	平均値=6.17922	標準偏差=5.29017	標準誤差=0.172272

変化量: 例数=943 平均値=-0.487805 標準偏差=4.33761 標準誤差=0.141252  
 t=-3.45344 自由度=942 有意確率 p=0.000578142\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.487805±0.277205 (-0.76501—0.2106)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.00115628\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.487805±0.31711 (-0.804915—0.170695)

・項目 3: K-6 三回目留置

項目 3: 例数=816	平均値=5.44363	標準偏差=4.76637	標準誤差=0.166856
項目 1: 例数=816	平均値=6.13358	標準偏差=5.17858	標準誤差=0.181287

変化量: 例数=816 平均値=-0.689951 標準偏差=4.24995 標準誤差=0.148778  
 t=-4.63746 自由度=815 有意確率 p=4.10716e-06\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.689951±0.292033 (-0.981984—0.397918)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=8.21432e-06\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.689951±0.334088 (-1.02404—0.355863)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: AIS 一回目留置  
 項目 2: AIS 二回目留置  
 項目 3: AIS 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1285	平均値=5.18911	標準偏差=4.16231	標準誤差=0.116113
項目 2: 例数=1008	平均値=4.79067	標準偏差=4.0063	標準誤差=0.126187
項目 3: 例数=897	平均値=4.45151	標準偏差=3.74823	標準誤差=0.12515

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: AIS 二回目留置

項目 2: 例数=858	平均値=4.88578	標準偏差=4.08498	標準誤差=0.139459
項目 1: 例数=858	平均値=5.1014	標準偏差=3.99477	標準誤差=0.136379

変化量: 例数=858 平均値=-0.215618 標準偏差=3.37558 標準誤差=0.11524  
 t=-1.87103 自由度=857 有意確率 p=0.061682+  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.215618±0.226186 (-0.441804-0.0105686)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.123364  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.215618±0.258755 (-0.474372-0.043137)

・項目 3: AIS 三回目留置

項目 3: 例数=771	平均値=4.51102	標準偏差=3.76944	標準誤差=0.135753
項目 1: 例数=771	平均値=5.14397	標準偏差=4.03765	標準誤差=0.145412

変化量: 例数=771 平均値=-0.632944 標準偏差=3.2492 標準誤差=0.117017  
 t=-5.40899 自由度=770 有意確率 p=8.46591e-08\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.632944±0.22971 (-0.862655-0.403234)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1.69318e-07\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.632944±0.262796 (-0.895741-0.370148)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: アルコール g 一回目留置  
 項目 2: アルコール g 二回目留置  
 項目 3: アルコール g 三回目留置

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1586	平均値=7.67662	標準偏差=18.0897	標準誤差=0.454235
項目 2: 例数=1586	平均値=7.07889	標準偏差=21.0269	標準誤差=0.527987
項目 3: 例数=1586	平均値=5.29407	標準偏差=17.3873	標準誤差=0.436596

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: アルコール g 二回目留置

項目 2: 例数=1586	平均値=7.07889	標準偏差=21.0269	標準誤差=0.527987
項目 1: 例数=1586	平均値=7.67662	標準偏差=18.0897	標準誤差=0.454235

変化量: 例数=1586 平均値=-0.59773 標準偏差=18.0359 標準誤差=0.452884  
 t=-1.31983 自由度=1585 有意確率 p=0.187082  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.59773±0.888315 (-1.48604-0.290584)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.374164  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.59773±1.01606 (-1.61379-0.418331)

・項目 3: アルコール g 三回目留置

項目 3: 例数=1586	平均値=5.29407	標準偏差=17.3873	標準誤差=0.436596
項目 1: 例数=1586	平均値=7.67662	標準偏差=18.0897	標準誤差=0.454235

変化量: 例数=1586 平均値=-2.38255 標準偏差=16.9651 標準誤差=0.425996  
 t=-5.59289 自由度=1585 有意確率 p=2.62587e-08\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-2.38255±0.835574 (-3.21812-1.54697)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=5.25173e-08\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-2.38255±0.955736 (-3.33828-1.42681)



東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 第1回握力  
 項目 2: 第2回握力  
 項目 3: 第3回握力

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1300	平均値=24.884	標準偏差=8.54742	標準誤差=0.237063
項目 2: 例数=938	平均値=24.5091	標準偏差=8.61387	標準誤差=0.281253
項目 3: 例数=905	平均値=24.2864	標準偏差=8.63862	標準誤差=0.287157

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 第2回握力

項目 2: 例数=842	平均値=24.5961	標準偏差=8.64639	標準誤差=0.297974
項目 1: 例数=842	平均値=25.0783	標準偏差=8.44301	標準誤差=0.290965

変化量: 例数=842 平均値=-0.482185 標準偏差=3.74563 標準誤差=0.129083  
 t=-3.73547 自由度=841 有意確率 p=0.000200007\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.482185±0.253363 (-0.735548--0.228823)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.000400013\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.482185±0.289846 (-0.772031--0.192339)

・項目 3: 第3回握力

項目 3: 例数=787	平均値=24.082	標準偏差=8.49984	標準誤差=0.302987
項目 1: 例数=787	平均値=24.7433	標準偏差=8.34342	標準誤差=0.297411

変化量: 例数=787 平均値=-0.661372 標準偏差=4.10553 標準誤差=0.146346  
 t=-4.51923 自由度=786 有意確率 p=7.16072e-06\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.661372±0.287276 (-0.948648--0.374097)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1.43214e-05\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.661372±0.32865 (-0.990023--0.332722)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

== 2 時期の平均値の比較 ==

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 男 第1回握力  
 項目 2: 男 第2回握力  
 項目 3: 男 第3回握力

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=517	平均値=32.4526	標準偏差=7.10841	標準誤差=0.312627
項目 2: 例数=364	平均値=32.092	標準偏差=7.55707	標準誤差=0.396098
項目 3: 例数=337	平均値=32.3866	標準偏差=7.37919	標準誤差=0.40197

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 男 第2回握力

項目 2: 例数=319	平均値=32.4771	標準偏差=7.44618	標準誤差=0.416906
項目 1: 例数=319	平均値=33.0301	標準偏差=6.92362	標準誤差=0.387648

変化量: 例数=319 平均値=-0.552978 標準偏差=4.01868 標準誤差=0.225003  
 t=-2.45765 自由度=318 有意確率 p=0.0145183\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.552978±0.442682 (-0.99566—0.110296)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.0290366\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.552978±0.506721 (-1.0597—0.0462566)

・項目 3: 男 第3回握力

項目 3: 例数=279	平均値=32.3584	標準偏差=7.44632	標準誤差=0.4458
項目 1: 例数=279	平均値=33.0502	標準偏差=6.85109	標準誤差=0.410164

変化量: 例数=279 平均値=-0.691756 標準偏差=5.16134 標準誤差=0.309002  
 t=-2.23868 自由度=278 有意確率 p=0.025968\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.691756±0.60828 (-1.30004—0.0834763)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.051936+  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.691756±0.696368 (-1.38812—0.00461217)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壮治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 女 第1回握力  
 項目 2: 女 第2回握力  
 項目 3: 女 第3回握力

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=783	平均値=19.8866	標準偏差=5.01393	標準誤差=0.179183
項目 2: 例数=574	平均値=19.7003	標準偏差=5.04603	標準誤差=0.210617
項目 3: 例数=568	平均値=19.4805	標準偏差=4.95741	標準誤差=0.208008

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 女 第2回握力

項目 2: 例数=523	平均値=19.7891	標準偏差=5.05587	標準誤差=0.221078
項目 1: 例数=523	平均値=20.2281	標準偏差=4.84085	標準誤差=0.211676

変化量: 例数=523 平均値=-0.439006 標準偏差=3.57214 標準誤差=0.156199  
 t=-2.81056 自由度=522 有意確率 p=0.00513127\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.439006±0.306855 (-0.745861--0.132151)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.0102625\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.439006±0.351117 (-0.790123--0.0878888)

・項目 3: 女 第3回握力

項目 3: 例数=508	平均値=19.5364	標準偏差=4.81701	標準誤差=0.21372
項目 1: 例数=508	平均値=20.1811	標準偏差=4.8328	標準誤差=0.214421

変化量: 例数=508 平均値=-0.644685 標準偏差=3.39455 標準誤差=0.150609  
 t=-4.28053 自由度=507 有意確率 p=2.23013e-05\*\*\*  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.644685±0.295894 (-0.940579--0.348791)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=4.46025e-05\*\*\*  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.644685±0.33858 (-0.983265--0.306105)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 第 1 回 MSP 値 (認知機能: 15 点満点 12 点以下で認知症疑い)  
 項目 2: 第 2 回 MSP 値 (認知機能: 15 点満点 12 点以下で認知症疑い)  
 項目 3: 第 3 回 MSP 値 (認知機能: 15 点満点 12 点以下で認知症疑い)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=707	平均値=12.4413	標準偏差=2.46859	標準誤差=0.0928408
項目 2: 例数=528	平均値=12.5985	標準偏差=2.37351	標準誤差=0.103294
項目 3: 例数=475	平均値=12.4611	標準偏差=2.38492	標準誤差=0.109427

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 第 2 回 MSP 値 (認知機能: 15 点満点 12 点以下で認知症疑い)

項目 2: 例数=373	平均値=12.6702	標準偏差=2.2531	標準誤差=0.116661
項目 1: 例数=373	平均値=12.7212	標準偏差=2.17945	標準誤差=0.112848

変化量: 例数=373 平均値=-0.0509383 標準偏差=2.46155 標準誤差=0.127454  
 t=-0.39966 自由度=372 有意確率 p=0.689636  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0509383±0.250621 (-0.301559-0.199683)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0509383±0.286837 (-0.337776-0.235899)

・項目 3: 第 3 回 MSP 値 (認知機能: 15 点満点 12 点以下で認知症疑い)

項目 3: 例数=326	平均値=12.4663	標準偏差=2.47891	標準誤差=0.137294
項目 1: 例数=326	平均値=12.6227	標準偏差=2.20809	標準誤差=0.122295

変化量: 例数=326 平均値=-0.156442 標準偏差=2.24843 標準誤差=0.124529  
 t=-1.25627 自由度=325 有意確率 p=0.209922  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.156442±0.244985 (-0.401427-0.0885433)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.419844  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.156442±0.280419 (-0.436861-0.123977)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 第 1 回 MSP 値 (下位 4 項目)  
 項目 2: 第 2 回 MSP 値 (下位 4 項目)  
 項目 3: 第 3 回 MSP 値 (下位 4 項目)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=700	平均値=12.4429	標準偏差=2.46889	標準誤差=0.0933155
項目 2: 例数=526	平均値=12.6103	標準偏差=2.37812	標準誤差=0.103691
項目 3: 例数=473	平均値=12.4778	標準偏差=2.3793	標準誤差=0.1094

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 第 2 回 MSP 値 (下位 4 項目)

項目 2: 例数=370	平均値=12.6811	標準偏差=2.2586	標準誤差=0.117419
項目 1: 例数=370	平均値=12.7324	標準偏差=2.16683	標準誤差=0.112648

変化量: 例数=370 平均値=-0.0513514 標準偏差=2.45724 標準誤差=0.127746  
 t=-0.401981 自由度=369 有意確率 p=0.68793  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0513514±0.251201 (-0.302552-0.199849)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0513514±0.287502 (-0.338854-0.236151)

・項目 3: 第 3 回 MSP 値 (下位 4 項目)

項目 3: 例数=323	平均値=12.4861	標準偏差=2.47389	標準誤差=0.137651
項目 1: 例数=323	平均値=12.6347	標準偏差=2.19464	標準誤差=0.122113

変化量: 例数=323 平均値=-0.148607 標準偏差=2.24775 標準誤差=0.125068  
 t=-1.18821 自由度=322 有意確率 p=0.235628  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.148607±0.246054 (-0.394661-0.0974471)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.471255  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.148607±0.281645 (-0.430252-0.133038)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1:1 回即時再認 (3 点満点)  
 項目 2:2 回即時再認 (3 点満点)  
 項目 3:3 回即時再認 (3 点満点)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=700	平均値=2.78	標準偏差=0.578736	標準誤差=0.0218742
項目 2: 例数=526	平均値=2.77376	標準偏差=0.57251	標準誤差=0.0249626
項目 3: 例数=473	平均値=2.76744	標準偏差=0.586607	標準誤差=0.0269722

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2:2 回即時再認 (3 点満点)

項目 2: 例数=370	平均値=2.78649	標準偏差=0.536304	標準誤差=0.0278811
項目 1: 例数=370	平均値=2.82162	標準偏差=0.54157	標準誤差=0.0281549

変化量: 例数=370 平均値=-0.0351351 標準偏差=0.655482 標準誤差=0.0340769  
 t=-1.03105 自由度=369 有意確率 p=0.30319  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0351351±0.0670092 (-0.102144-0.0318741)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.606381  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0351351±0.076693 (-0.111828-0.0415578)

・項目 3:3 回即時再認 (3 点満点)

項目 3: 例数=323	平均値=2.77399	標準偏差=0.606644	標準誤差=0.0337546
項目 1: 例数=323	平均値=2.83282	標準偏差=0.507619	標準誤差=0.0282447

変化量: 例数=323 平均値=-0.0588235 標準偏差=0.594703 標準誤差=0.0330902  
 t=-1.77767 自由度=322 有意確率 p=0.0764012+  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0588235±0.0651002 (-0.123924-0.0062767)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.152802  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0588235±0.0745168 (-0.13334-0.0156933)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1:1 回見当識 (4 点満点)

項目 2:2 回見当識 (4 点満点)

項目 3:3 回見当識 (4 点満点)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=700	平均値=3.48	標準偏差=0.788617	標準誤差=0.0298069
項目 2: 例数=526	平均値=3.57414	標準偏差=0.73369	標準誤差=0.0319904
項目 3: 例数=473	平均値=3.56871	標準偏差=0.747902	標準誤差=0.0343886

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2:2 回見当識 (4 点満点)

項目 2: 例数=370	平均値=3.60541	標準偏差=0.699185	標準誤差=0.0363489
項目 1: 例数=370	平均値=3.54054	標準偏差=0.694328	標準誤差=0.0360964

変化量: 例数=370 平均値=0.0648649 標準偏差=0.755187 標準誤差=0.0392603  
 $t=1.65218$  自由度=369 有意確率  $p=0.0993495+$   
 変化量平均値の 95%信頼区間=0.0648649±0.077202 (-0.0123371-0.142067)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率  $p=0.198699$   
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=0.0648649±0.0883587 (-0.0234938-0.153224)

・項目 3:3 回見当識 (4 点満点)

項目 3: 例数=323	平均値=3.5418	標準偏差=0.780559	標準誤差=0.0434315
項目 1: 例数=323	平均値=3.55108	標準偏差=0.686849	標準誤差=0.0382173

変化量: 例数=323 平均値=-0.00928793 標準偏差=0.828401 標準誤差=0.0460935  
 $t=-0.201502$  自由度=322 有意確率  $p=0.840433$   
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.00928793±0.0906824 (-0.0999703-0.0813945)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率  $p=1$   
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.00928793±0.103799 (-0.113087-0.0945115)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1:1 回遅延再認 (6 点満点)  
 項目 2:2 回遅延再認 (6 点満点)  
 項目 3:3 回遅延再認 (6 点満点)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=700	平均値=5.12286	標準偏差=1.4792	標準誤差=0.0559085
項目 2: 例数=526	平均値=5.21673	標準偏差=1.4218	標準誤差=0.0619933
項目 3: 例数=473	平均値=5.12896	標準偏差=1.46219	標準誤差=0.0672315

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2:2 回遅延再認 (6 点満点)

項目 2: 例数=370	平均値=5.26486	標準偏差=1.34148	標準誤差=0.0697404
項目 1: 例数=370	平均値=5.25946	標準偏差=1.32629	標準誤差=0.0689508

変化量: 例数=370 平均値=0.00540541 標準偏差=1.67558 標準誤差=0.0871091  
 t=0.0620533 自由度=369 有意確率 p=0.950554  
 変化量平均値の 95%信頼区間=0.00540541±0.171293 (-0.165887-0.176698)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=0.00540541±0.196047 (-0.190641-0.201452)

・項目 3:3 回遅延再認 (6 点満点)

項目 3: 例数=323	平均値=5.11455	標準偏差=1.51879	標準誤差=0.0845076
項目 1: 例数=323	平均値=5.17028	標準偏差=1.35779	標準誤差=0.0755493

変化量: 例数=323 平均値=-0.0557276 標準偏差=1.58702 標準誤差=0.088304  
 t=-0.631088 自由度=322 有意確率 p=0.528431  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0557276±0.173726 (-0.229453-0.117998)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=1  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0557276±0.198855 (-0.254582-0.143127)



東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: 1 回図形認識 1+2 (2 点満点)

項目 2: 2 回図形認識 1+2 (2 点満点)

項目 3: 3 回図形認識 1+2 (2 点満点)

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=700	平均値=1.06	標準偏差=0.684469	標準誤差=0.0258705
項目 2: 例数=526	平均値=1.04563	標準偏差=0.651599	標準誤差=0.0284111
項目 3: 例数=473	平均値=1.01268	標準偏差=0.62762	標準誤差=0.028858

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: 2 回図形認識 1+2 (2 点満点)

項目 2: 例数=370	平均値=1.02432	標準偏差=0.664185	標準誤差=0.0345293
項目 1: 例数=370	平均値=1.11081	標準偏差=0.642777	標準誤差=0.0334164

変化量: 例数=370 平均値=-0.0864865 標準偏差=0.69304 標準誤差=0.0360294  
 $t = -2.40044$  自由度=369 有意確率  $p = 0.01687^*$   
 変化量平均値の 95%信頼区間 =  $-0.0864865 \pm 0.0708488$  (-0.157335—0.0156377)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率  $p = 0.03374^*$   
 変化量平均値の 95%同時信頼区間 =  $-0.0864865 \pm 0.0810874$  (-0.167574—0.0053991)

1)

・項目 3: 3 回図形認識 1+2 (2 点満点)

項目 3: 例数=323	平均値=1.05573	標準偏差=0.632939	標準誤差=0.0352177
項目 1: 例数=323	平均値=1.0805	標準偏差=0.649671	標準誤差=0.0361486

変化量: 例数=323 平均値=-0.0247678 標準偏差=0.721889 標準誤差=0.040167  
 $t = -0.616621$  自由度=322 有意確率  $p = 0.53792$   
 変化量平均値の 95%信頼区間 =  $-0.0247678 \pm 0.0790229$  (-0.103791—0.0542551)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率  $p = 1$   
 変化量平均値の 95%同時信頼区間 =  $-0.0247678 \pm 0.0904533$  (-0.115221—0.0656855)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名: 東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (touhoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1: フレイルスコア: BLANK ありを除外 1 回目  
 項目 2: フレイルスコア: BLANK ありを除外 2 回目  
 項目 3: フレイルスコア: BLANK ありを除外 3 回目

○全データの基礎統計量

項目 1: 例数=1388	平均値=1.48991	標準偏差=1.42408	標準誤差=0.0382244
項目 2: 例数=1071	平均値=1.43604	標準偏差=1.40937	標準誤差=0.0430656
項目 3: 例数=934	平均値=1.42077	標準偏差=1.43589	標準誤差=0.0469837

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2: フレイルスコア: BLANK ありを除外 2 回目

項目 2: 例数=973	平均値=1.42343	標準偏差=1.39721	標準誤差=0.0447926
項目 1: 例数=973	平均値=1.47174	標準偏差=1.40197	標準誤差=0.0449449

変化量: 例数=973 平均値=-0.0483042 標準偏差=1.20216 標準誤差=0.0385396  
 t=-1.25337 自由度=972 有意確率 p=0.210374  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0483042±0.0756303 (-0.123935-0.0273261)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.420747  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0483042±0.0865167 (-0.134821-0.0382125)

・項目 3: フレイルスコア: BLANK ありを除外 3 回目

項目 3: 例数=849	平均値=1.40636	標準偏差=1.43524	標準誤差=0.0492573
項目 1: 例数=849	平均値=1.43698	標準偏差=1.39104	標準誤差=0.0477404

変化量: 例数=849 平均値=-0.0306243 標準偏差=1.2964 標準誤差=0.0444925  
 t=-0.688302 自由度=848 有意確率 p=0.491451  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0306243±0.0873283 (-0.117953-0.0567041)  
 Bonferroni 型多重検定: 有意確率 p=0.982902  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0306243±0.099903 (-0.130527-0.0692787)

東日本大震災・高齢被災者健康調査データ 3 回分の解析結果

=== 2 時期の平均値の比較 ===

[DANS V7.1]

データ名:東北大学病院 老年科 冲永壯治先生 (tohoku002-00.dns 2015-03-14)

項目 1:フレイルスコア:3回とも答えたデータ 1回目  
 項目 2:フレイルスコア:3回とも答えたデータ 2回目  
 項目 3:フレイルスコア:3回とも答えたデータ 3回目

○全データの基礎統計量

項目 1:例数=699	平均値=1.41059	標準偏差=1.39235	標準誤差=0.0526634
項目 2:例数=699	平均値=1.37768	標準偏差=1.38467	標準誤差=0.0523732
項目 3:例数=699	平均値=1.41488	標準偏差=1.46188	標準誤差=0.0552933

○対応のあるデータと対応のある t 検定 (1 標本 t 検定、one sample t-test)

・項目 2:フレイルスコア:3回とも答えたデータ 2回目

項目 2:例数=699	平均値=1.37768	標準偏差=1.38467	標準誤差=0.0523732
項目 1:例数=699	平均値=1.41059	標準偏差=1.39235	標準誤差=0.0526634

変化量:例数=699 平均値=-0.0329041 標準偏差=1.22313 標準誤差=0.0462631  
 t=-0.71124 自由度=698 有意確率 p=0.477173  
 変化量平均値の 95%信頼区間=-0.0329041±0.0908315 (-0.123736-0.0579273)  
 Bonferroni 型多重検定:有意確率 p=0.954346  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=-0.0329041±0.103918 (-0.136823-0.0710142)

・項目 3:フレイルスコア:3回とも答えたデータ 3回目

項目 3:例数=699	平均値=1.41488	標準偏差=1.46188	標準誤差=0.0552933
項目 1:例数=699	平均値=1.41059	標準偏差=1.39235	標準誤差=0.0526634

変化量:例数=699 平均値=0.00429185 標準偏差=1.29413 標準誤差=0.0489484  
 t=0.087681 自由度=698 有意確率 p=0.930155  
 変化量平均値の 95%信頼区間=0.00429185±0.0961038 (-0.0918119-0.100396)  
 Bonferroni 型多重検定:有意確率 p=1  
 変化量平均値の 95%同時信頼区間=0.00429185±0.10995 (-0.105658-0.114242)

## Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表